

ICOM IC-9700で、さらに広がる移動運用の楽しさと可能性。

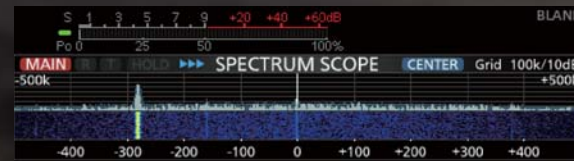
1200MHz帯を標準装備。しかも、AM、DV/DDモードを含むオールモードに対応。

IC-9700は144/430MHz帯に加え1200MHz帯も標準装備。従来のV/UHF運用に、ラジオダクトによるDX通信やマイクロ波特有の電波通信実験など、1200MHz帯ならではの新たな楽しみが加わります。しかも、AM、D-STARのDV(デジタルボイス)/DD(デジタルデータ)を含むオールモードに対応しています。また、144/430/1200MHz各バンド用にアンテナ端子も装備しています。

	IC-9700/S	IC-911D
1200MHz帯	標準装備	オプション
モード	SSB/CW/RTTY AM/FM/DV/DD	CW/SSB/FM

瞬時に信号を発見できるリアルタイムスペクトラムスコープは、アウトドアでも威力を発揮。

V/UHF機で初めて高性能リアルタイムスペクトラムスコープとウォーターフォール表示を実現。屋外の騒がしい環境では、目で見て、バンドの状況を把握したり、空き周波数を探したり、目的の信号に素早くアクセスすることができるリアルタイムスペクトラムスコープが有効です。



リアルタイムスペクトラムスコープ&ウォーターフォール表示例

安定した長時間運用を可能にする、新設計の省エネPA。

新たに設計したクーリング構造と、背面に大型のクーリングファンを採用。本体の温度が上昇しにくく、長時間にわたる移動運用やコンテストでも、安定した運用が可能です。また、新PAは省エネにも大きく貢献しており、IC-911Dと比較した場合、送信時20A→15A以下と大幅に消費電流を軽減しています。



上記写真は15分間連続送信した際の背面シャーシ温度の比較です。IC-911Dが65°Cまで発熱しているのに対し、IC-9700は45°Cまでしか温度が上昇していません。



背面に装備されたクーリングファン

タッチパネルの採用により、操作性が飛躍的に向上。

4.3インチのTFTディスプレイはタッチ操作に対応。周波数やモードをはじめとした各種設定を、グラフィカルなメニュー画面から直感的に操作することができます。クラブで移動運用をしたり、コンテストに参加したりする際、普段IC-9700を使用していないメンバーが使用しても、スムーズに操作することが可能です。



メニュー画面表示例

高度なV/UHF運用を実現する多彩な機能群。

- 2波同時受信機能が、コンテスト等で効率のよい運用を実現。
- デジタル技術を結集したRFダイレクト・サンプリング方式を採用(144/430MHz)。
- 送受信音の波形を見ながらモニターできるオーディオスコープ機能を搭載。
- 快適なD-STAR運用を可能にする多彩な機能。
- DR(D-STAR レビータ)機能を搭載、2波同時受信&同時復調にも対応。
- スマートフォンやパソコンなどで、ターミナルモードやアクセスポイントモードでの運用が可能。
- 簡単操作のサテライトモードを搭載。
- IC-7300と同様の操作系を採用。
- 大音量でも歪みの少ない聞き取りやすいクリアな音質を実現。
- RS-BA1(Version 2)に対応(サーバーPC機能搭載)&CI-Vによる電源コントロールが可能。
- デジタルツイン PBT*を搭載。ほか

144MHz+430MHz+1200MHz
<SSB/CW/RTTY/AM/FM/DV/DD>50Wトランシーバー

IC-9700

希望小売価格: 188,000円+税 3アマ免許 技術取得

●IC-9700S<20Wタイプ> 希望小売価格:188,000円+税 4アマ免許 技術取得

付属品 ハンドマイクホン<HM-219>